

国際会長 (IP) Wichian Boonmapajorn (タイ)

“Mission with Faith”

「信念のあるミッション」

アジア地域会長 (AP) Edward K.W. Ong (シンガポール)

“Through Love, Serve”

「愛をもって奉仕をしよう」

東日本区理事 (RD) 渡辺 隆 (甲府)

「原点に立って、未来へステップ」

“Stand at the origin and take a step for the future”

湘南・沖縄部部長 (DG) 今城 高之 (横浜つづきワイズメン&ウイメンズ)

「一人ひとりが愛と平和の種をまこう」

横浜クラブ会長 (CP) 金子 功

「クラブの伝統に誇りを、明日に自信を」

“Pride and confidence for the future”

会長 金子 功
副会長 高杉 治興
書記 伊藤 誠彦
会計 古田 和彦
直前会長 天野 皓司

監事 舟田 正夫
ブリテン 高田 一彦
担当主事 青木 一弘

<今月の聖句>

高田 一彦

主は羊飼い、わたしには何も欠けることがない。
主はわたしを青草の原に休ませ、憩いの水のほとりに
伴い、魂を生き返らせてくださる。
主は御名にふさわしく、わたしを正しい道に導かれる。
死の陰の谷を行くときも、わたしは災いを恐れない。
あなたがわたしと共にいてくださる。
あなたの鞭、あなたの杖 それがわたしを力づける。
(詩編 23篇1~4節)

今月のひとこと

「新たな取り組み2015、そして2016」

田口 努



明けましておめでとうございます。横浜
YMCAは、今年132周年を迎えます。
これもひとえに皆様のお支えによる
ところ。あらためて感謝申し上げます。

2015年度に横浜YMCAが他団体と
コラボレーションしている新たな取り組みを2つご紹介
させていただきます。一つは、昨年4月から、みなとみらい
地区にある独立行政法人 国際協力機構・JICA横浜の
地域交流事業です。年間800名の開発途上国の研修員
の方々には、日本への親しみを、地域の方々には国際協力や

海外への関心を深めて頂くなど相互交流の機会を
設けています。研修の無い週末や夜間の時間を利用して、
横浜YMCAが企画した地域交流事業に自由に申し込
んで参加するものです。各YMCAプログラムと連動しての
保育園の田植え、バザー、英会話会員との国際パーティー、
学童保育での国際交流、地域の祭り、ホームビジット、陶
芸、茶道、着物着付けなどの日本文化体験、富士山YMC
A、東山荘、観光地などのタウンウォーク、相撲部屋訪問
などユニークな企画が大人気で参加者が増え続けていま
す。その楽しい様子は、JICA横浜のHPのトップペ
ージからYMCAブログ地域・国際でみることができます。

二つ目は、横浜YMCAが行っている横浜英和小学校の
児童のための学童保育です。日常は、YMCAの学童保育が英
和小学校内で展開され、夏休みなどの長期休暇は、横浜中央
YMCAを会場に行なわれて好評です。英和小学校の新年度
の入学生には、YMCAの学童があるから受験したと言われ
る方もあり、2016年度の横浜英和小学校YMCA学童保
育の参加者は倍増が予定されています。その状況に、小学
校側も学童のスペースを拡大することになっています。この
様子もJICA同様に、横浜英和小学校HPを開けると、ト
ップページからYMCA学童保育にリンクします。協働する
団体がYMCAとコラボレーションしていることを喜び、そ
して強くアピールして下さることは、とても嬉しいこと
です。2016年4月からは、新たに横浜市緑区の東本郷
地域ケアプラザ、横浜市戸塚区の舞岡地区センターの運
営を新たに開始します。紹介した二つのプログラムによ
うに、地域の人々や行政などからYMCAに任せてよか
ったと言われるように心して準備をしていきたいと思
います。今年もよろしくお願
いします。

★ 強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う ★

<2015年12月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
20名 (功労 会員1 名を含 む)	メン 18名 メネット 6名 コメット 0名 ビジター 2名 ゲスト 1名 合計 27名	89 % (メーキャップ 名を含む) 前月修正出席 率	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 3,493g 現金 0円

<1月の行事予定>

IBC/DBC

日	曜	時間	行事内容	場所
16	土	18:00 21:00	ワイズ-YMCA 合同新年会	ホテル・プラム
28	木	17:00	横浜クラブ 第2例会	中央Y

<12月 85周年記念例会報告>

伊藤 誠彦

日時：12月10日(木) 18:00~20:30
 場所：横浜中華街 廣東飯店
 出席者：天野、伊藤、メネ、今村、遠藤、大江、大高、メネ、
 押川、メネ、金子、メネ、神村、メネ、古賀、齋藤、
 高杉、メネ、高田、田口、成瀬、舟田、古田、山添
 ゲスト：野村郁雄
 ビジター：今城高之(横浜つづき)、加藤利榮(横浜とつか)
 今例会は、横浜クラブ創立85周年記念例会として開催された。高田ワイズの司会により、定刻に開始。開会点鐘、会長挨拶、ワイズソングとワイズ信条に続き、ゲスト・ビジター3名の紹介。記念例会とは言え、85周年は内々でということにケストは担当主事として永らく貢献いただき昨年3月に退会された野村さん。ビジターは今城湘南・沖縄部長と、横浜とつかクラブ創立までの35年間にわたり横浜クラブで活躍された加藤さんのお二人だけ。

当記念例会は金子会長の熱意とご努力により実現した。横浜クラブ出席者はメン・メネ合計24名。これは2000年以降では最大の出席者数だ。(23名が過去3回)

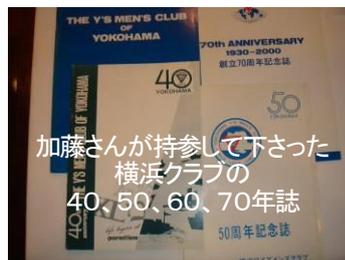
簡単にビジネスを終え、クラブの歴史も紐解きながら、周到に準備して下さった押川ワイズによる奨励・祈祷の後、出席者全員で記念撮影。

押川ワイズによる食前感謝の後、食事・歓談に移った。



ほどなくして、高田ワイズによる軽妙な司会により、出席者全員がワイズに係わる思い出やワイズにかける想いを述べ、会は和やかな雰囲気の中に進化した。

今城部長は祝辞の中で、「次々期部長の横浜クラブからの選出を・・・」と釘を刺された。「義務を果たしてこそ、権利があることを・・・」の信条が脳裏に浮かぶ。



85周年と言っても、会員歴が半世紀以上で今や伝説のワイズメンとも言うべき高杉功労会員、加藤ワイズを除くと、出席者のうちワイズ歴20年超は、高田、今村ワイズのお二人だけ。

これから力を合わせ、横浜クラブのあるべき姿を模索していく上で、起点となるクラブの現状に関する正しい認識は不可欠だ。そのためにも、もっとクラブの歴史について学ばなければと感じた。「歴史は現状の説明」だから。

「横浜YMCAクリスマス会報告」

古田 和彦

12月17日(木) 18時30分から20時まで、恒例の横浜YMCAクリスマス会が湘南とつかYMCAで行われた。ワイズメン・メネットはじめ、横浜YMCAにかかわる、レイパースン、スタッフが一堂に会し、主イエス・キリストの誕生を祝った。第1部礼拝では、益巖牧師から、異なる文化の中にあつた東方の3博士が主イエスの誕生を祝ったことの意味についてメッセージをいただいた。第2部祝会では、数グループにそれぞれ分かれて楽しく語り合い、親交を深めた。



また、横浜ワイズメンズクラブからBAPY基金に例年拠出している10万円に加え、横浜ワイズ85周年を記念して8万5千円、合わせて、18万5千円を贈呈した。なお、8万5千円はクラブファンドから支出した。当クラブ参加者、青木、金子、古賀、齋藤、高田、田口、松島、古田の各ワイズ。

缶ビール4万4千本分のプルタブ送付

12月11日、青木担当主事がプルタブ22kgを東日本区に送付してくれました。プルタブ1個は0.5gですから、44,000個に相当します。800kgになれば車椅子と交換されます。有志が集めたものですが、その大部分はお酒好の菅沼義久元ワイズが集めて下さったもの。まさか、全部自分で飲んだのでは・・・?!

「とつかクラブ初島一泊研修ツアーに参加して」

伊藤 比朗美

12月15、16日、横浜とつかクラブの12月例会にお誘いいただき参加させていただきました。一泊研修の会場は熱海からフェリーで30分の会員制リゾートホテル「グランドエクシブ初島」（若木さんが会員だとか）。

大海原が望める部屋で開催された簡潔で要を得た例会。

会合の後は、日常を離れて過ごすひと時に感謝しつつ食堂へ。これぞ世界無形文化遺産とも言うべき、眼に美しく味豊かな和食を戴きました。その後ゆっくりと湯に浸り、女性8人遅くまで話しに花咲かせました。

翌日も好天に恵まれ、首都圏からもっとも近いと言われる「離島」から戻り、別れを惜しみながら2時過ぎに解散。大いに英気を養って「夢の島」から元の生活へと戻りました。

日野原先生の日めくりカレンダー「一日いちにち生きかた上手」に『旅に出ませんか。本を読みませんか。必ず何か得られます』とあります。その通りの充実した時間が持てた研修ツアーでした。とつかクラブの皆様有難うございました。

【新年への一言特集】

Three wise monkeys

青木一弘



先日、台湾の孔子廟で撮った「三猿」の写真を見つけました。この3匹の猿は、両手でそれぞれ、目・耳・口を隠していて、「見ざる、聞かざる、言わざる」という叡智の3つの秘密を示しています。

2016年は申年ですが、この孔子の教え『論語』による「三猿」はどんな意味を持っているのか改めて考えを巡らせてみると、一つは礼にあらざるものを視るなかれ、聴くなかれ、言うなかれといった戒めの意味。また、イヤなものは見ない、聞かない、言わないといった臭いものにはフタをするような意味もあります。言葉の意味も取りようによっては様々な解釈ができますが、今年は自分なりの「三猿」を考えて行動してみようと思います。

「後期高齢者」

天野 皓司



馬齢を重ねて、気が付いたら今年の後期高齢者の仲間入り。干支に因んで「見ざる、聞かざる、言わざる」なんて言われるが、内に籠らず、チョッピリ背伸びして過ごせればと思っている。幸い当クラブには元気の良いシニアが揃っているので、勇気と力をいただき一緒になって活動できればと願っている。昨年は思いがけず湘南・沖縄部のユース事業を担当したが、少しずつユース事業が分かってくるように感じている。YMCAの支援を最大のミッションとする私達は、もっともっとユースに係わる必要があるのだろう。スピーチコンテストもその大切な一つだ。「歳相応に」は禁句とし、若者から「なかなか、やるじゃん」と言われる一年にしたい。

「健康第一」

伊藤 誠彦



「来年の正月こそは一点の曇りもない健康な体で迎えたい」。昨年の当欄で誓いました。結果は？まずまずでした。

一昨昨年、一昨年と細菌性胸膜炎を患いました。実は、昨年の夏にもその兆候が……。本来、再発する性格の病気では無いそうです。歯が細菌の侵入径路と自己診断し、治療した結果、症状は消えました。昔、会社の先輩が心臓手術をするに当たって見舞いに行った時、歯は細菌の源泉とかで、全部抜かれていたことを思い出したからです。

これが「藪覗み」の結果に終わらなければ、後は、身体の中からアルコールで消毒を・・・と考えています。

「生涯現役」

今村 謙



正月9日心身共健康で満86歳を迎え感謝。年齢の実感が全く無い。改めて抱負でもないが従来通り、信仰生活をベースにサムエル・ウルマンの「青春」を心の糧に全力投球で乗り切りたい。長寿の時代取り敢えず昨年11月に天寿を全うし天国に凱旋した母美貴が目標であるが26年を要する。

「新年の抱負」

遠藤 喜七



昨年の12月27日（日）TBSテレビを、それとなく見てました。情熱大陸との番組で、近藤麻理恵の話に引き込まれ興味ある内容で、我を忘れ感動しました。

それは、私たち日常生活に於いて誰もが感じている事だと思いました。それは、家庭において衣類、本、食器、小物等、使用しないもので溢れている現状です。片づけのテクニックを指導してくれる内容でした。まず、洋服を例に挙げると、触って、1枚1枚抱きしめて、心のときめきを感じとり、今後、自分を幸せにしてくれるか迷った場合は、ありがとうと感謝の心で捨てる！それによって自分の思考回路を変える。物を通して自分を見つめる。そうすれば、人生が変わり自分の判断が、仕事にもいかされる。又、物にも魂が入る。心が広がる。現在「人生がときめく片づけの魔法」で、人の意識に働きかける本を出版され、瞬く間に世界38カ国で翻訳され、世界から注目されている。

本人に今後の夢は、と尋ねると、最終目標は「世界を片づける」とのこと！

私も、彼女よりパワーを頂いたので、そのハートを見習い、今年度は、「片付け、奉仕精神」で何事にも対応、精進する事をお誓いさせていただきます。

「新年の抱負」

大江 浩



新年を心よりお祝い申し上げます。ワイズの皆様、2016年が希望に満ちた良い年になりますように。

元旦の朝日新聞社説が、「地球が、傷だらけで新年を迎えた。民族や宗教、経済、世代……。あらゆるところに亀裂が走っている。国境を超越した空間を意味するはずのグローバル世界は今、皮肉なことにたくさんの分断線におおわれている。(中略) 新年の挑戦は、連帯と共感の危機にひとつひとつ向き合うことから始まる。」(朝日新聞 2016.1.1)と分断される世界の現実と、連帯と共感への挑戦を訴えています。

国内外で平和と共生が大きく揺らぐ今、“Be the change you want to see in the world”(あなたが望む世界の変化に、あなたがなるのです: マハトマ・ガンジー)の言葉を胸に、与えられた場所で、平和を創り出す変化(私)でありたいと思います。

「新年の抱負」

大高 治



明けましておめでとうございます。中国の歴史は5千年、インドは何と7千年。ほとんどのことが分っているとインドの知人は言う。人間が生きられる最高年齢120歳を発見したのもインド人。その半分60歳になると、生き方を変える人が多いそうです。知人は58歳でビジネスを辞め、世界旅行を楽しみ、仲人で社会奉仕をしていると言う。還暦とは若干意味合いが異なります。

私は62歳で仕事を辞め、ボランティアを始めましたが、このインド人のように明確な考えはありませんでした。この知人に刺激され、楽しみと奉仕を目標に加えました。共働、共楽、共笑をモットーにワイズメンズクラブの皆様とも、共に歩ませて頂きたいと存じます。

「いよいよ断捨離か」

金子 功



書齋を見渡すと今や「つんどく」になっている書籍、嘗てはステレオ・コンポで聴いた33回転のレコード、退職したら楽しもうとテレビからVHSテープに録画した名画の数かずで溢れている。また、殆ど整理されていない写真も束になって棚に積まれてある。

最近では、それにCDが加わった。

時々、部屋を掃除してくれる妻には、「一体これらをどうする積り」と諭される。自分にとってはそれぞれに思い出のあるものばかりであるが、確かに、後を継いでくれるであろう子供たちにとっては殆ど価値の無いものばかりだ。子どもたちに苦勞を掛けないためにも身の回りの整理を始めようか

と考えている。余り高尚な抱負ではないが難しい挑戦になりそうだ

「年賀状の怪」

神村浩正



今年の年賀状を書きながら、当たり前のことながらとんでもないことに気がついた。宛先の住所は郵便番号を入れると住所が出てくる便利さには大いに助かるうえ、立派な字で印刷してくれるので予期した時間より早く出来たが、問題はその後であった。印刷だけでは愛想がないので一言書き加えようとしたところ簡単なことでも漢字が出てこない(忘れていた)のである。日頃文章を書くのになんの不自由も感じなかったが、パソコンという辞書の助けを受けていたのに気がついた次第である。

『新年度への抱負』

古賀 健一郎

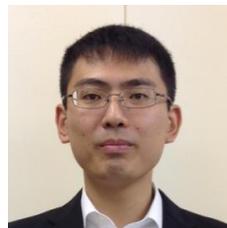


力による支配がまかり通るこの世において、輝く星の静寂さの中に『きよしこの夜』の讃美歌に『平和』への想いを募らせる。第一次世界大戦中、英国軍とドイツ軍が国境を挟んで対峙していた時、突然、ドイツ側陣地から、ドイツ語による"Stille Nacht! Heilige Nacht"が聴こえ、今度は英国側が英語による"Silent Night"が歌いだされ、戦場から銃声や砲声が消えた。最前線にいた兵士たちの『一時停戦』だった。『平和を!安らぎを!』と望む気持ちが、『静かな夜・清らかな夜』を生み出したと言われる。

昨年11月横浜ワイズメンズクラブに入会した私だが、このクラブの趣旨に沿った奉仕活動に地道に取り組み、微力ながらも、主体的に『平和』への行動を実践していきたい。

「新年抱負」

齋藤 宙也



神奈川に戻ってきて1年がたとうとしています。高校まで地元、大学は都内でしたので、横浜は通過してしまいよく知らない町になっています。横浜で仕事をする以上、今年はまだ少し横浜のことを知っていきたいと思います。

ワイズ活動についても、引き続き参加してまいります。一朝一夕にはできませんが、YMCAや関東のワイズ界における知名度を上げ、認めていただけるようにしていきたいと思っています。

新しい事務所での生活は、大分落ち着いてきました。現在の厳しい弁護士業界において、独立1年目にしてはまずまずの売上となり、取り崩した貯金が回復する程度にはなりました。しかし、安定がないのが弁護士業ですので、油断せず頑張ります。

「新年の抱負」

高杉 治興



ワイズの皆様おめでとう。1953年、私は甲府クラブに入会し、横浜クラブに転会、以来60数年の年月が過ぎました。

2015年は、多事多難の年。海外では、イスラム過激派がテロを引き起こし多くの人々を恐怖に追い込みました。

現在までのところ、わが国は彼らの標的にはなっていませんが、近く迫ってくるサミットや東京オリンピックなどは狙われることでしょう。

一方、日本列島は一連の火山が噴火活動を起こし、大雨・河川の増水などの自然災害がしきりに発生した。

二人のノーベル賞者を出し、スポーツ界での好成績を出し明るい面もありましたが、目をワイズに絞ると問題は会員増強にしぼられるようです。会員増強はクラブとしても大きな課題となっています。ただ呼び声をあげるだけでは達成されない大きな問題です。齢すでに卒寿を越え、体力的にあまり期待できませんが、これからの年月を皆さんと御一緒に頑張るつもりです。よろしくお願いします。

「心掛けること」

高田 一彦



まずは、健康第一を目標に、毎朝起床時に八段錦（中国民間に伝わる8種類の健康運動で導引術から派生したもので800年の歴史を持つ）を15分くらい掛けてゆっくり行い、その日の体調を伺う。

毎週一回のボーリング教室に通う。（昨年、251を出したが、今年も250以上を目指す）。

船橋教会への出席と、地元で根差した活動への参加（船橋市生きがい福祉事業団）等に積極的に取り組む等、平凡な中にも充実した毎日をおくる事を心掛けたい。

「新年の抱負」

田口 努



ついに年男、申年となりました。先日、戦後の日本を救った「ララ物資知っている？」と聞いてみると、若いスタッフから「ララレポートの荷物」ですかと聞かれ唖然としました。年齢の差を感じました。

しかし、昨年からはウォーキングをはじめ一日1万歩を継続した結果、体年齢だけは45歳（15歳近く若返り）新年は、これを維持し、さらに下げたいと思います。目指せ30代20代。

「新年への抱負」

成瀬 澤史



昨年はどんな抱負を述べたのか2015年1月のブリテンを読み返しました。朝日新聞紙上の漱石の連載を読み、分からない漢字はこまめに辞書を引く癖をつけるとありました。「こころ」、「三四郎」、「それから」と続き現在は「門」

を読んでいます。昨日のページにもルビ付きであるにせよ「髣髴、纏絡、霑ませる」等げんがりしてきます。何十年も読書せずに過ごしてきた者には背伸びし過ぎたと思います。新年はもっと読み易い本をとベストセラーの芥川賞受賞作の「火花」、新聞の広告欄に掲載されていた無縁社会、原発、貧困などをテーマにしている「ニッポン沈没」、脳はたとえ壊れてもネットワークがカバーするとおっしゃる「生涯健康脳」の3冊を買って求めました。いまさら手遅れだとは思いますが、いつの日か趣味はと聞かれたら読書ですと答えられるようになりたいものです。

「新年度への抱負」

舟田 正夫



世の中は決められる政権が現れたので、気持ちのいらいらが少し減って来ました。今年は海外旅行と読書に時間をかけ、夢と希望を実現したいと考えています。

海外旅行は英国・スペインへ1か国2週間くらいゆっくり時間をかけて行きたい。アメリカは建国後200年位だが見どころがあるので、あと2回くらいは時間をかけて見て来たい。

読書は19世紀の英国の作家の小説を更に読みたい。時間はいくらあっても足りないが心掛けることが貴重だと思っています。

「人生設計の再設定」

古田 和彦



申年の私は今年3月で72歳となる。残りの人生もそう長くはない。そこで、この機会に、人生設計を再設定してみたい。何を大切にしたいか。その具体的な活動は何か。そのためにどう自分を整えなければならないか。

主の祈りに、「み国を来たらせたまえ」との1節がある。神の求めておられる社会の実現のために生きたいと願う。教会での礼拝と活動を基本とし、ワイズはじめ福祉、教育分野でできることをしていきたい。そのためには、心身の健康が必須となる。健康維持のため散歩、スポーツも大切にしたい。

「延ばすな」

松島 美一



"Never put off till tomorrow what you can do today." 「今日出来ることを明日まで延ばすな。」中学で英語の先生から習った格言です。座右の銘のつもりですが、大袈裟に言えば、これに違反しなかったと胸を張れた日は一日もありません。

定年退職前には退職後にやりたい事々を沢山夢に描き、一部は口外もしました。十数年後の今、やり残していることの多さに呆れます。今のペースでは、これから先何年生きたらやり切れるのか！

取りあえず今年の目標は「今年出来ることを来年まで延ばすな。」生涯の目標は「この世で出来ることを天国にまで持ち込むな。」

第二例会報告

高田 一彦

日時：2015年12月10日（木）17時～18時

場所：広東飯店

出席者：天野、伊藤、齋藤、金子、高田、古田、山添
協議・確認事項

- 1) 行事予定の確認
2月例会（11日）は、YMCA会員大会に合流する
- 2) 第3回スピーチコンテスト：2月24日（木）
その後、引き続き第2例会を開催
- 3) メネット委員会からの献金：12,000円
- 4) Y-Y's 合同新年会1月16日（土）
本日案内チラシ配付、伊藤ワイズ集計
- 5) 世界YMCA同盟からの難民緊急支援募金
- 6) 横浜クラブの次期役員選出について：
会則に従い会長立候補者受付公示1月中旬までに
- 7) 横浜クラブ会則及び細則の検討
伊藤ワイズ提案の見直し作業案に従って作業開始（作業内容・分担を一任）
- 8) 次々期理事推薦/次々期国際会長投票：会長に一任
- 9) IBC・DBCへのクリスマスカードへの署名：
本日の例会で署名を回覧し、先月例会時の全員の写真を添付して送付
- 10) BAPYへの献金：18万5千円をYMCAクリスマス会で贈呈（例年の10万円+85周年記念として）
- 11) IYC（台北）参加者募集、YMCAでも検討



担当主事 青木 一弘

明けましておめでとうございます。昨年中は、色々とお世話になりありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます

●第1回 子ども支援基金のためのチャリティーゴルフのお知らせ

このゴルフコンペは、経済的な理由によりYMCAで行う様々なプログラムに参加することができない子どもたちを支援する基金の増強を目的に開催されます。興味のある方は是非、ご参加ください。

日程 2月15日（月）※ゴルフ場クローズの場合中止

会場 戸塚カントリー倶楽部 西コース・歩き(貸し切り)
横浜市旭区大池町26 TEL:045-351-1241

対象 YMCA会員、賛助会、維持会員及びその紹介者

定員 120名
参加費 3万円（グリーンフィー・キャディフィー・ロッカー代・当日昼食代 チャリティー費用・表彰式パーティー費用・消費税を含む）

（お申込方法）

- ・1組4名分をまとめて別紙申込書にご記入の上、1月25日(月)までに郵送またはFAXで大会事務局へお送りください。
- ・お一人でもお申込みいただけます。事務局でグループをア

レンジさせていただきます。

（大会事務局）厚木YMCAチャリティーゴルフ係

TEL:046-223-1441/FAX:046-223-2101

●One Million Voices（世界のユースたちの声）のご紹介

YMCAでは世界100万人のユース(若者)の声を集め、思いや希望、求めていることを発信しています。是非、世界のユースの声を聞いて、聞いてください。ユースは思いや希望、考えを持っています。ユースが自信を持って活躍する！そんな世の中にしていくために、ユースエンパワーメントに更なるご理解・ご協力をお願い致します。

以下のサイトにアクセスしてください。

<https://youtu.be/pGFL0nPcjks>

（YOUTUBEの動画にてご覧いただけます。）

●横浜YMCA会員大会のご案内

【日時】2月11日（木・休日）10:00～16:00

【場所】横浜とつかYMCA

【講演】「パレスチナに生きる人々」スライドと講演

【講師】高橋美香さん

横浜YMCA会員大会は、維持会員相互の親睦・交流・学び“Never put off till tomorrow what you can do today.”の機会として、また横浜YMCAでの活動の場・ボランティアとして参加できる機会等の紹介、そして世界に目を向け、国際、文化共生、人権、平和などについて考える機会として行われます。

横浜YMCA&ワイズ合同新年会

日時：1月16日（土）18:30～21:00

場所：ホテル・プラム（横浜駅西口）

出席者：横浜YMCA常議員、事業委員、職員、
湘南・沖縄部ワイズメン・メネット

Happy Birthday:

今村讚（9）、松島紀子（11）、舟田正夫（15）

高杉治興（20）、舟田昌子（24）、大江浩（26）

例会報告：金子ワイズ

2月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
11	木	10:00	横浜YMCA会員大会 (2月例会に充てる)	とつかY
24	水	13:30	第3回日本語スピーチ コンテスト	中央Y
24	水	17:00	横浜クラブ第2例会	中央Y

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは横浜YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org

電話 046-641-5785